

科目名 Course Name	障害の理解Ⅱ Understanding Disabilities II						
年次	1年	期別	後期	単位数	2単位	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡先(質問等)	福祉棟3階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	障害福祉に関する法体系と社会資源を理解する。また、障害のある人と家族の心理を理解し、各種専門職の連携と協働から、具体的な支援について学ぶ。						
授業の方法	講義科目であるが、演習も併用する。						
学習成果	L01						
	L02	障害福祉に関わる各法の概要を説明できるようにする。 障害による心理的側面を把握し、支援体制とつなげることができるようにする。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	平常試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書 最新・介護福祉士養成講座「障害の理解」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</li> <li>●積極的に参加し学びを共有すること。授業中の居眠り、携帯電話、メールの使用、その他授業に関係のない物について、授業中は使用しない事。</li> </ul>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	テキストや指示された資料等を持参し、自主的にメモしている。個人ワークやディスカッションに積極的に取り組んでいる。		20		
レポート/作品	S:障害福祉の法体系について調べた上で、現状と課題について考察できていること。		20		
発表	自分の考えを、他の学生や教員に伝わるように発表することができる。		10		
小テスト					
試験	介護福祉士国家試験に準じた選択式の試験及び論述試験である。		50		
その他					
<b>合計</b>			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって)、「障害の理解Ⅰ」の復習
	事前・事後学習	障害の理解Ⅰで学んだ事をまとめる。
2	授業内容	障害のある人の生活の理解 発達障害のある人の生活【視聴覚教材】
	事前・事後学習	視聴覚教材をみての振り返りをまとめる。
3	授業内容	障害のある人の生活の理解 重度心身障害、内部障害、難病のある人の生活
	事前・事後学習	難病にはどのような病気があるのかをテキストを用い調べてくる。
4	授業内容	障害のある人の生活の理解 自立生活
	事前・事後学習	IL運動の日本における歴史について調べてまとめる。
5	授業内容	障害福祉の法体系① 個人ワーク(障害福祉に関わる法体系を分担し調べる)
	事前・事後学習	個人ワークからレポートを作成する。
6	授業内容	障害福祉の法体系② グループワーク(個人ワークをもとに障害福祉に関わる法体系をまとめる)
	事前・事後学習	個人ワークからレポートを作成する。
7	授業内容	障害福祉の法体系③ 発表 (レポート1 提出:第6回目)
	事前・事後学習	自分や他者の発表から振り返りを記入する。
8	授業内容	障害福祉の法体系④ 発表、補足説明、まとめ
	事前・事後学習	自分や他者の発表から振り返りを記入する。
9	授業内容	障害のある人の心理 障害が及ぼす心理的影響(本人や家族への支援)
	事前・事後学習	家族への支援についてテキストを用いどのような社会資源があるか調べる。
10	授業内容	障害と住まいを考える【演習】障害とバリアフリー
	事前・事後学習	演習を通しての振り返りを記入する。
11	授業内容	連携と協働① 地域におけるサポート体制
	事前・事後学習	自分が住む地域における社会資源について調べる。
12	授業内容	連携と協働② チームアプローチ、各種専門職の理解
	事前・事後学習	チームアプローチでの介護福祉士の役割を考えまとめる。
13	授業内容	地域生活と社会資源
	事前・事後学習	どのような専門職が障害者支援にかかわっているのかを調べまとめる。
14	授業内容	家族への支援と地域生活
	事前・事後学習	障害がある人が地域生活をするための課題をまとめる。
15	授業内容	まとめ 小テスト
	事前・事後学習	障害の理解Ⅱの振り返りを記入する。